

滋 医 薬 第 8 0 0 号
平成20年(2008年)6月17日

各救急告示病院長 様

滋賀県健康福祉部医務薬務課



平成20年度医師救急医療業務実地修練にかかる受講者の推薦について

平素は、本県の保健医療行政の推進につきまして、ご協力とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記実地修練について、別添実施要領に基づき実施されますので、下記により受講者の推薦方よろしくお願ひします。

記

1 受講対象者

二次・三次救急医療施設等に勤務し、救急の第一線で活躍している者（日本救急医学会専門医（認定医を含む）またはそれと同等の知識、技術を有する者）であって、施設長の推薦する者。

2 提出種類

別添「医師救急医療業務実地修練受講申込書」を受講希望者一人につき、2部提出のこと。

3 提出先

県健康福祉部医務薬務課医療整備担当 担当：八木

4 提出期限

平成20年6月27日（金）（必着）

5 その他

上記提出期限までに推薦のない場合は、受講申込者がいないものとして取り扱います。

別 紙

平成20年度

医師救急医療業務実地修練実施要領

厚生労働省医政局

医師救急医療業務実地修練実施要領

1 目的

本講習会は、救急医療を行っている医師を対象とし、日常の救急診療能力の向上のみならず、地域救急医療の指導者となる医師の養成を目指すものである。救急診療においては、種々の検査や処置を整然と速やかに行い、救急疾患の病態を把握した合理的で無駄のない診療が重要である。このことから、本講習会では、単に個々の手技を習得するのではなく、これらの組み合わせによる最適な救急診療を研修し、各地域における救急医療の指導者となるための知識等を下記研修目標に従って研修することにより、救急医療における専門性の高い医師の確保に資することを目的とする。

(研修目標)

- (1) 救急患者の初期の診断・治療の理論と実際を習得する。
- (2) 救急処置を行った後の患者管理の実際を習得する。
- (3) 救命救急センター等への転送の適用と、転送に際して必要な準備と処置を習得する。
- (4) 各地域における救急医療の実態を把握し、改善できる能力を習得する。

2 対象者

二次・三次救急医療施設等に勤務し、救急の第一線で活動している者（日本救急医学会専門医（認定医を含む）またはそれと同等の知識、技術を有する者）であって、施設長の推薦する者

3 受講者の推薦及び決定

受講者は、都道府県等が前項に定める対象者のうちから救急医療体制の確保上最も効果の期待できるものを選考し、別紙(1)による受講申込書を1部作成添付のうえ、厚生労働省医政局指導課長に推薦するものとする。

厚生労働省医政局指導課長は、都道府県等から推薦のあった者のうちから受講者を決定し、都道府県に通知するものとする。

4 修了証書

本講習会を受講し、修了した者には修了証書を授与する。

5 研修事業実施者

厚生労働省の委託により財団法人 日本救急医療財団が行うものとする。

6 研修場所及び受講定員

- (1) 合同研修（東京）
独立行政法人国立病院機構研修センター

(2) 施設研修

下記研修指定施設（8コース）

- | | |
|--------------------|----------------|
| ① 札幌医科大学附属病院 | 高度救命救急センター |
| ② 岩手医科大学附属病院 | 高度救命救急センター |
| ③ 日本医科大学千葉北総病院 | 救命救急センター |
| ④ 日本医科大学附属病院 | 高度救命救急センター |
| 帝京大学医学部附属病院 | 救命救急センター |
| 杏林大学医学部附属病院 | 高度救命救急センター |
| 駿河台日本大学病院 | 救命救急センター |
| 昭和大学病院 | 救命救急センター |
| 東京医科大学病院 | 救命救急センター |
| (上記のうちから2病院を選択) | |
| ⑤ 埼玉医科大学総合医療センター | 高度救命救急センター |
| ⑥ 大阪府立急性期・総合医療センター | 救急診療科 |
| 神戸市立中央市民病院 | 救命救急センター |
| ⑧ 川崎医科大学附属病院 | 救急部・高度救命救急センター |
| ⑩ 沖縄県立中部病院 | 救命救急センター |

(2) 受講定員 50名

7 研修実施期間

施設研修	自 平成20年9月8日(月)
	至 平成20年9月9日(火)
合同研修	自 平成20年9月10日(水)
	至 平成20年9月12日(金)

8 研修内容

別紙(2)の「研修内容」を標準とする。

9 受講経費

11,550円(受講者は、指定口座に振り込みとする。)

10 その他

旅費、滞在費及び宿泊費については、受講者側の負担とし、受講するために必要な筆記用具、白衣等は受講者が持参するものとする。

なお、宿泊施設については、受講者各自が確保することとする。

医師救急医療業務実地修練受講申込書

（都道府県名）

ふりがな 受講者氏名	生年月日		男女の別	
	昭和	年 月 日（歳）	男・女	
受講者住所	〒（Tel）			
所属施設	施設名		救急告示の有無	有・無
	所在地	〒（Tel）		
	職名			
卒業医科 大学	学校名			
	卒業年月	昭和・平成	年	月卒
医師免許	免許番号	第 号		
	取得年月日	昭和・平成	年	月 日
受講施設 の希望	第一希望			
	第二希望			
	第三希望			
診療科目及び主たる研究 （専門領域）				
救急医療の経験年数		年	か月	
所属施設の年間救急患者数		人		
所属施設の救急医療体制		救命救急センター・病院群輪番制病院・共同利用型病院・なし		
備考（研修を希望する理由及び意見）				

（注）1 受講施設については、必ず第三希望まで記入すること。また、④を希望する場合は、受講を希望する施設を3つ記入すること。

なお、特定の施設に多数の受講希望があった時などは、調整のため第二・第三希望を採用し決定するので、予め了知願いたい。

2 当該研修の受講を希望する理由及びその他受講に対する特記事項について備考欄に記入すること。

研 修 内 容

1 施設研修

(1) 日 程

平成20年9月8日（月） ～ 平成20年9月9日（火）

(2) 内 容

- ア、救急部門の運営・管理に関する事（経営、労務管理、医療安全、standard precaution）
- イ、地域において、救急医療施設が果たすべき役割（MC含む）に関する事
- ウ、研修医、救急救命士、その他救急部門スタッフ等への指導・教育に関する事
- エ 災害、テロ対策に関する事
- オ 最新の救急医療の動向に関する事

2 合同研修

(1) 日 程

平成20年9月10日（水） ～ 平成20年9月12日（金）

(2) 内 容

- ア、座学
 - (ア) 最新の救急医療の動向に関する事（外傷、熱傷、中毒、新型インフルエンザ、小児の標準治療と最新治療）
 - (イ) 救急部門スタッフ等への指導教育に関する事
 - (ウ) 救急医療の法的問題
 - (エ) 病院前救護体制と救急体制
- イ ワークショップ
 - (ア) 地域において救急医療施設が果たすべき役割（MC含む）に関する事
 - (イ) 救急部門の運営・管理に関する事（経営・労務管理、医療安全 standard precaution）
 - (ウ) 災害・テロ対策に関する事